

## 第28期第1回常任理事会議事録

日時：1994年7月25日 13時30分～16時15分

場所：気象庁内日本気象学会事務局

出席者：松野，関口，磯部，大西，小倉，斉藤，里村，  
竹内，中村，新田，藤谷，以上11名

### 議事

#### 1. 議事録の確認

- ・第27・28期理事・監事合同会議議事録  
一部修正のうえ承認。
- ・第28期第1回理事会議事録  
原案どおり承認。

#### 2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用許可1件（第3回アジア・太平洋防災会議，同実行委員会主催，9月5日，NHK 福岡放送センター）。

- ・秋季大会予稿集の入札を実施。総合印刷センターが落札。

会計…1994年6月の収支状況を報告。収入，支出とも順調。

天気…7月号の内容及び8，9月号の予定を報告。

- ・IAMAP 特集号約700部を関係機関に配布。
- 気象集誌…第3号は10日ほどの遅れで発行。今号から印刷業者が変わったが，ほぼ順調な滑り出し。
- ・集誌の印刷・発行を Elsevier 社に委託する件について，現在すでに団体会員となっているものについては現在と同程度の会費で機関誌を配布できるところまで話し合いが進んだ。再来年の1月までに結論を出せば良いので，もう少し話し合いを継続する。

各賞…『天気』に公募した日産研究助成金に対して2件の応募があった。

パソコン通信…6月の着信件数290件。

- ・財団法人ニューメディア開発協会の「全国パソコンネット局実態調査」及び電波新聞社の「BBS 電話帳アンケート」に回答した。

#### 3. 理事の担当業務について

前回理事会で決定した理事の担当業務のうち，本人欠席のため後日確認とした分につき，担当変更の希望が出された。常任理事会として討議した結果，教育と普及委員会の担当を永田理事に，副担当を小倉理事に決定。また，気象研究ノートの担当を中村理事に変更することを確認。

教育と普及委員会の活動方針について常任理事会として若干の議論を行った。教育関連の活動を活性化させる必要が指摘され，教育関係者の出席しやすい会議日程の設定や，地学教育学会などにこちらから出かけて交流を強化すること，教育問題に詳しい人に委員会の活動方針への助言をしてもらうことなどの意見が出された。

#### 4. 会員の新規加入等について

個人19名，団体1の入会を承認。

個人1名，団体1の退会を報告。

#### 5. 各委員会の構成について

天気・気象集誌の各編集委員会，教育と普及委員会，講演企画委員会，学会賞・藤原賞・堀内基金奨励賞・奨励金受領者の各推薦委員会，国際学術交流委員会の委員について各担当理事からの推薦を原案通り承認。気象研究ノート，山本・正野論文賞の委員については次回常任理事会に提案の予定。

#### 6. 山本・正野論文賞候補者に対する投票結果について

担当委員会から推薦のあった中村尚会員（東京大学理学部）について全理事による投票を行った結果，理事総数の4分の3以上の26名の投票があり，有効投票数の3分の2以上の賛成で中村会員を受賞者とすることを決定。

#### 7. 奨励金受領候補者について

担当委員会に対して推薦のあった5件のうち3件を候補者として推薦するに至った経過報告が中村担当理事からあり，全理事による投票にかけることとした。

これに関連して，従来，奨励金受領者の研究成果等を気象学会員に対して公表する機会が十分に保障されていなかったことが議論になり，研究がまとまった段階で『天気』等に投稿してもらうように教育と普及委員会が窓口となって調整することとした。

#### 8. 堀内基金奨励賞候補者について

7名の推薦が推薦委員会に対してあり，堀内基金奨励賞の性格（周辺領域）などを考慮して，このうちから1名を候補者として推薦するとの報告が第27期担当理事であった松野理事長からあった。全理事による可否投票にかけることとした。

## 9. 名誉会員の推薦及び評議員の選任について

事務局から、現在の名誉会員が3名(和達, 吉武, 磯野の各氏)であること, 1986年総会で決定して以来, 推薦を行っていないことなどの説明があり, 次回の総会にむけて議論を深めることにする。

評議員については前期の方針を受け継ぎ, なるべく幅広い分野から選任する基本方針を確認し, 具体的な人選について討議した結果, 10名弱の候補者の名前があがった。常任理事で手分けして, 次回常任理事会までに本人の受諾の意志を確認することとした。

## 10. 1995年度春季大会の会場について

例年どおり気象庁と竹橋会館を予定しているが, 竹橋会館の予約状況から, 例年より1週間早い, 5月15日(月)~17日(水)としたいとの提案が庶務担当理事からあり, これを承認。会期が月曜日からのため, 研究会が木曜日に集中する恐れがある。研究会の会場確保のため, 大学の施設等の利用も考慮

する必要がある。

## 11. 科学研究費補助金に係わる審査委員候補の推薦について

これについての依頼が学術会議地球化学・宇宙化学研究連絡委員会からあった。常任理事会として討議した結果, 理事長が専門に近い何人かの人に相談のうえ, 適当な候補を推薦することに決定。

## 12. 出版局構想検討グループの設置について

『天気』担当藤谷理事から, 学会の機関誌等の諸出版物の編集・出版体制を強化することを目的として標記検討グループを設置する提案があり, 常任理事会として承認。構成は『天気』担当理事2名, 『集誌』担当, 『研究ノート』担当, 教育と普及担当, 総合計画担当の各理事1名の合計6名程度とする。他学会の出版体制の調査を行うとともに, 気象学会の発行体制の検討を1年程度かけて行う。